

私の秋送り2025

野路菊の花満開で真っ白になった横尾山山腹 野地菊の丘 2025.11.24.

11月下旬 待ちかねた真っ白な小さな小菊「野路菊」 満開の野路菊の丘
眼下に広がる西神戸の街並・須磨の海・播磨灘を眺めながら
友や知人を思い浮かべつつ、いっときを過ごす私の秋送り
今年も素晴らしい青空の下 紅葉も満開の野路菊の丘 私の秋送りになりました



兵庫の秋の風物詩：野路菊

兵庫県の花「野路菊」
花言葉は「真実」
山裾の崖や道端に そっと咲く花
気取らず、ありのままの姿の親しさ
そっと寄り添ってくれる小菊です





秋晴れの空 横尾道から見上げる紅葉が山腹を飾る横尾山 2025.11.24.

手前の丘の右手に真っ白になった野地菊の丘が見える
本年は紅葉と重なり、美しい山腹 待ちかねた野路菊満開の丘で ゆっくり私の秋送りです



横尾道から眺める紅葉に囲まれた山腹斜面の野路菊の丘 2025.11.24.



横尾道から野路菊の丘への散策路に入り、少し登れば街の喧騒から逃れた別世界
横尾山腹斜面の野路菊の丘 2025.11.24.



野路菊の丘への散策路から見晴らす秋景色 風がないので絶好の散策日和に
横尾山腹の野路菊の丘へ 2025.11.24.



野路菊の丘につくと、目に飛び込む斜面一杯に広がる野路菊の花
横尾山腹の野路菊の丘で 2025.11.24.



横尾山腹斜面の栽培地一杯に広がる野路菊の花 横尾山腹の野路菊の丘で 2025.11.24.



横尾山腹斜面の栽培地一杯に広がる野路菊の花 横尾山腹の野路菊の丘で 2025.11.24.
丘にいるのは3組だけ ゆったりとした午後のひととき
ひとしきり、花に近づいて ながめたり、香りをたしかめたり、、、、。
栽培地の上へ登ったり、腰を下ろして、眼下を眺めたり、 ゆったり自分の時間を過ごす秋の楽しみ。



横尾山腹の野路菊の丘から眺める眼下の秋景色 2025.11.24.
南に明石大橋がかすんで見え 東正面から北へぐるりと名谷ニュータウンの街並



山裾の崖や道端にずっと咲く小菊「野路菊」須磨横尾山腹 野路菊の丘で Mutsu Nakanishi 2025.11.24.



横尾山腹斜面の栽培地一杯に広がる野路菊の花 今年も出会えた真っ白な小菊「野路菊」
穏やかな午後 喧騒を忘れて、ゆっくりと 横尾山腹の野路菊の丘で 2025.11.24

兵庫県の花「野路菊」
花言葉は「真実」
山裾の崖や道端にそっと咲く花
気取らず、ありのままの姿の親しさ
そっと寄り添ってくれる小菊です



2024.11.24. 須磨横尾山腹 野路菊の丘で Mutsu Nakanishi



ゆっくりと 横尾山腹の野路菊の丘で 2025.11.24.



ゆっくりと 横尾山腹の野路菊の丘で 2025.11.24.



丘の上部から周りを見下ろして 横尾山腹の野路菊の丘で 2025.11.24

私の秋送り2025

横尾山山腹 野路菊の丘で 2025.11.24.

老いと向き合う80代、なんとなく人恋しい
今健康でいることに感謝しつつ、
先に逝った人たちへの思いはひとしおです

放浪の歌

♪ そんなにお前はなぜ嘆く
草のしとねに寝ころんで
私の言うことお聞きあれ
人の浮き世の見栄を捨て

♪ 口笛吹いて気を晴らせ
うつつの夢を見ていやれ
くたびれ休みに山を見て
腹が減ったらまた歩け

もしとつ減ったら・・・
・・・・・・・・・・・・・・・・

惜別の歌

♪ 遠き別れに耐えかねて
この高楼に登るかな
悲しむなかれ 我が友よ
旅の衣を ととのえよ

♪ 別れを言えば昔より
この人の世の常なるを
流るる水を眺むれば
夢恥ずかしき涙かな

♪ 君がさやけき眼の色も
君 虹の唇も
君が緑の黒髪も
またいつか見ん この別れ

昨年より約1週間遅れた野路菊 紅葉も満開の中での暖かい秋送り
先行きが見えぬ混乱の時代に、ゆっくりとひと時を過ごすことができました
先に逝った先輩諸氏・仲間・知人 みんな みんな ありがとう
God be with You!! & You Raise Up Me!!

2025.11.24. From Kobe Mutsu Nakanishi



丘の上部から周りを見下ろして 横尾山腹の野路菊の丘で 2025.11.24



丘の上部から周りを見下ろして 横尾山腹の野路菊の丘で 2025.11.24.



丘の上部から周りを見下ろして 横尾山腹の野路菊の丘で 2025.11.24.
左手遠くに 淡路島 明石大橋がかすんで見える



左手遠くにかすんで見える淡路島 明石大橋 横尾山腹の野路菊の丘で 2025.11.24



よこお野路第の丘

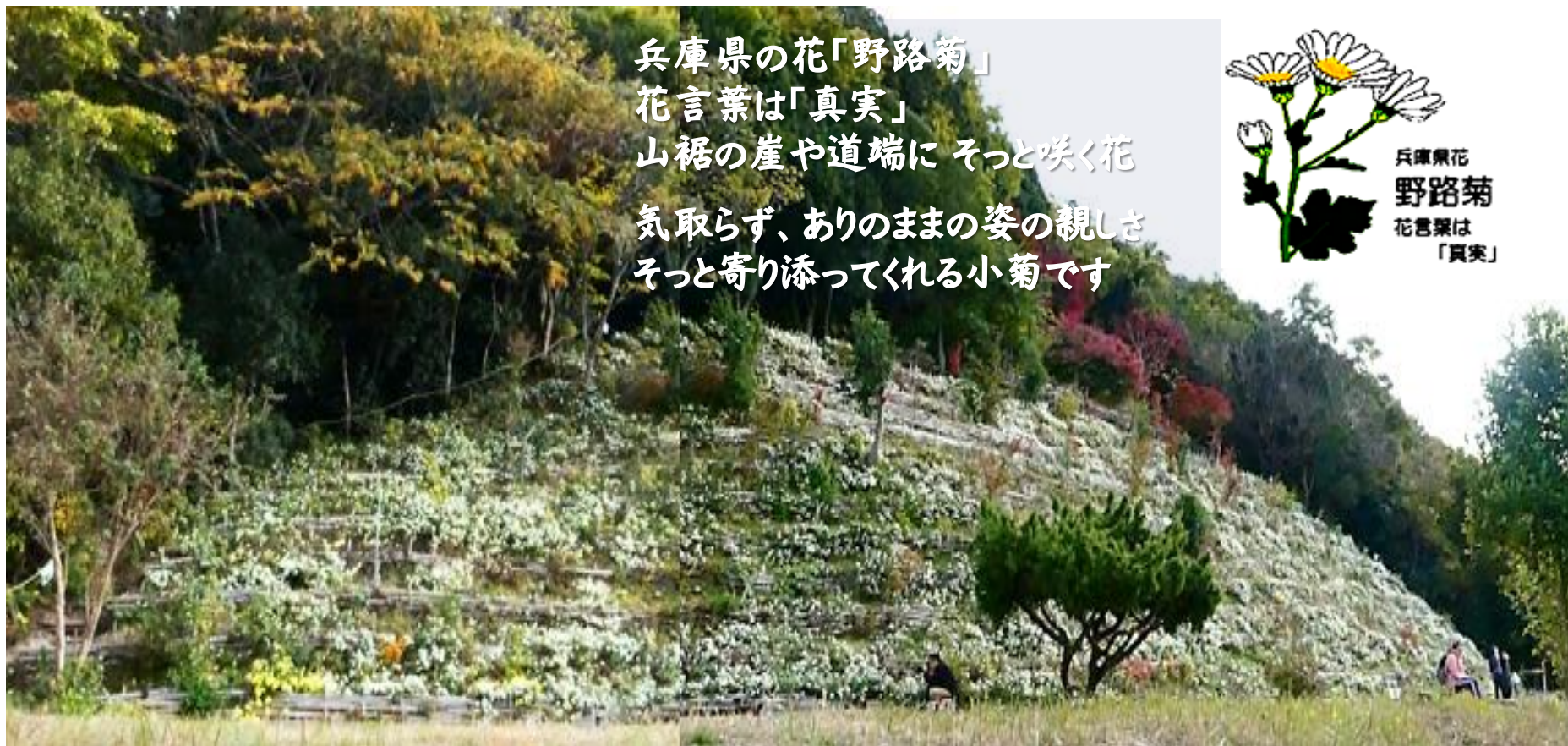




横尾山腹斜面の栽培地一杯に広がる野路菊の花 横尾山腹の野路菊の丘で 2025.11.24.



秋日和の穏やかな午後にひとしきり楽しんだ「私の秋送り」
歌を口ずさみつつ、散策路を下る 2025.11.24.



兵庫県の花「野路菊」
 花言葉は「真実」
 山裾の崖や道端に そっと咲く花
 気取らず、ありのままの姿の親しさ
 そっと寄り添ってくれる小菊です



山裾の崖や道端にそっと咲く小菊「野路菊」須磨横尾山腹 野路菊の丘で Mutsu Nakanishi 2025.11.24.

私の秋送り2025

野路菊の花満開で真っ白になった横尾山山腹 野地菊の丘 2025.11.24.

11月下旬 待ちかねた真っ白な小さな小菊「野路菊」 満開の野路菊の丘
眼下に広がる西神戸の街並・須磨の海・播磨灘を眺めながら
友や知人を思い浮かべつつ、いっときを過ごす私の秋送り
今年も素晴らしい青空の下 紅葉も満開の野路菊の丘 私の秋送りになりました



兵庫県の花「野路菊」
花言葉は「真実」
山裾の崖や道端に そっと咲く花
気取らず、ありのままの姿の親しさ
そっと寄り添ってくれる小菊です

私の秋送り2025

横尾山山腹 野路菊の丘で 2025.11.24.

老いと向き合う80代、なんとなく人恋しい
今健康でいることに感謝しつつ、
先に逝った人たちへの思いはひとしおです

放浪の歌

♪ そんなにお前はなぜ嘆く
草のしとねに寝ころんで
私の言うことお聞きあれ
人の浮き世の見栄を捨て

♪ 口笛吹いて気を晴らせ
うつつの夢を見ていやれ
くたびれ休みに山を見て
腹が減ったらまた歩け

もしとつ減ったら・・・
・・・・・・・・・・・・・・・・

惜別の歌

♪ 遠き別れに耐えかねて
この高楼に登るかな
悲しむなかれ 我が友よ
旅の衣を ととのえよ

♪ 別れを言えば昔より
この人の世の常なるを
流るる水を眺むれば
夢恥ずかしき涙かな

♪ 君がさやけき眼の色も
君 虹の唇も
君が緑の黒髪も
またいつか見ん この別れ

昨年より約1週間遅れた野路菊 紅葉も満開の中での暖かい秋送り
先行きが見えぬ混乱の時代に、ゆっくりとひと時を過ごすことができました
先に逝った先輩諸氏・仲間・知人 みんな みんな ありがとう
God be with You!! & You Raise Up Me!!

2025.11.24. From Kobe Mutsu Nakanishi



今日はもう一つ予定あり
野路菊と共に秋の掉尾を飾る花に、もう一つ 須磨離宮公園の「秋のバラ」がある。
電話で確かめたら今が満開だという。まだ、日が陰るのに少し時間があるので、
秋のバラの写真を撮りに。アンネのバラ もう2年見ていないので、今日で会えるとうれしいなあ・・・と
私的な自分の思い出ばかりの動画 申し訳ありません。

2025.11.24. 横尾道へ下りて